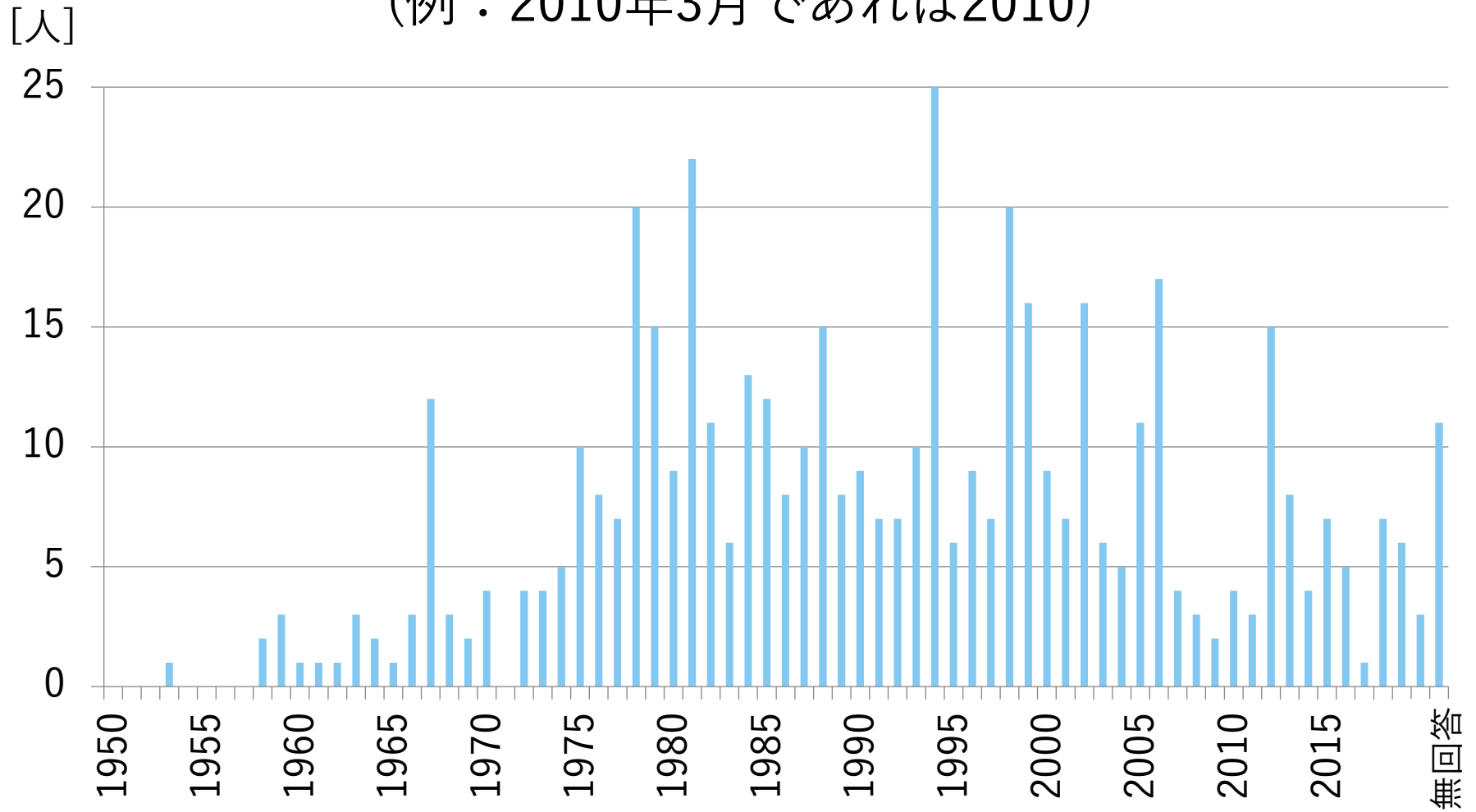


【歯学科】 卒業生進路アンケート 集計結果
2019年度実施分
(回答者496名/同窓会報発送数3196件)

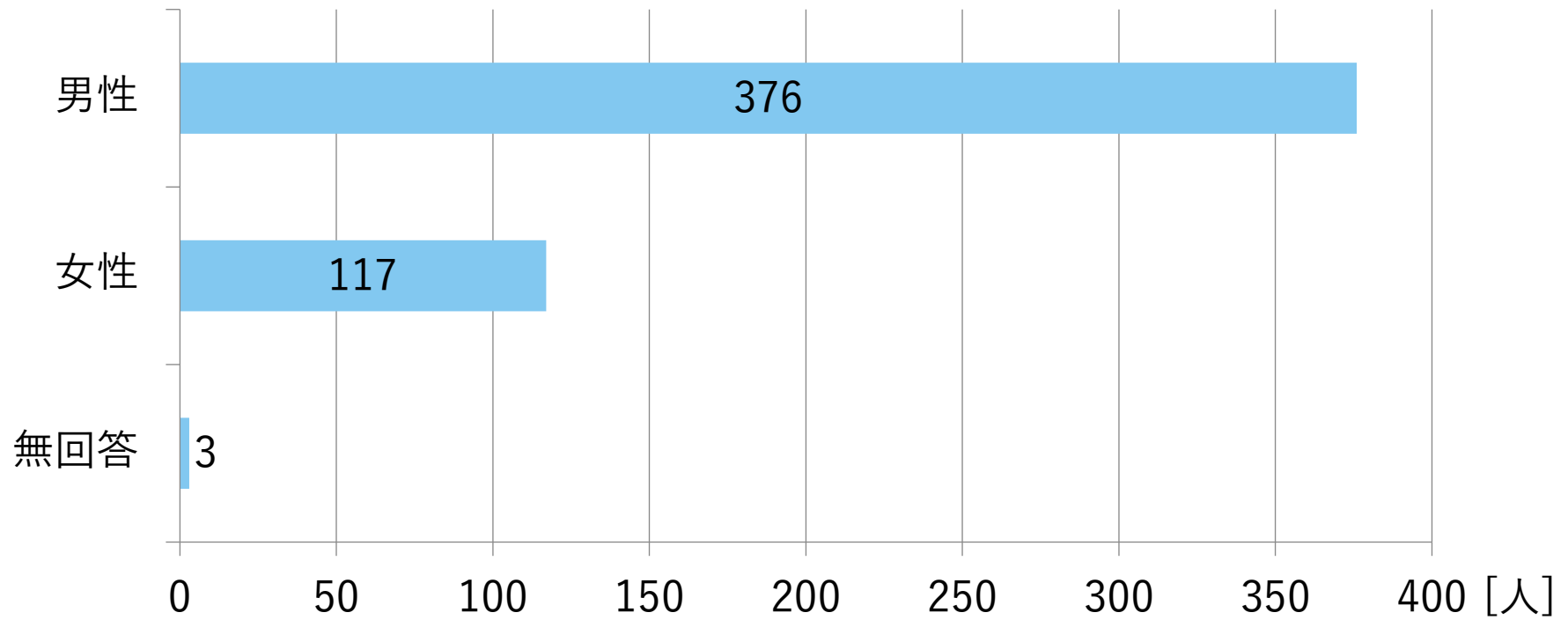
統合教育機構 教学IRチーム

学部卒業年

(例：2010年3月であれば2010)

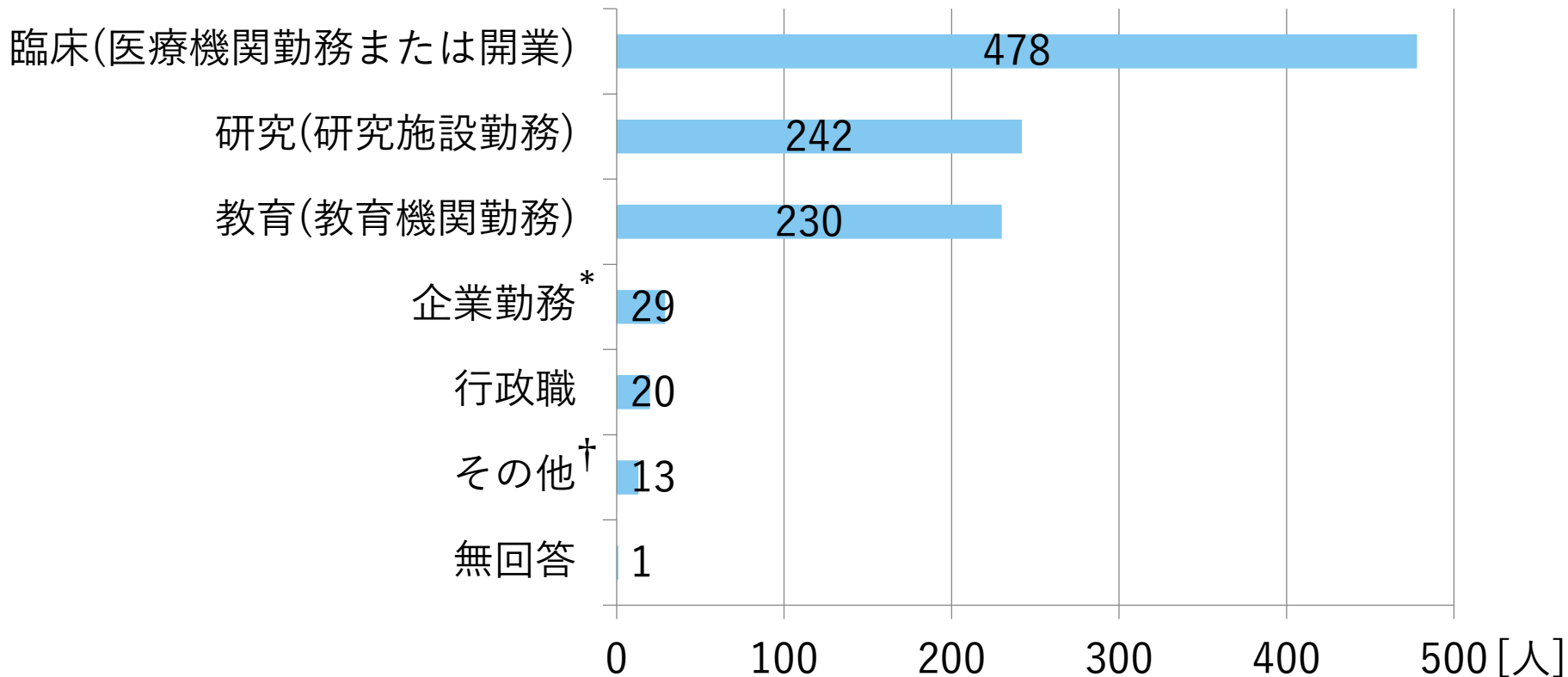


性別



学部卒業以降,携わっていた時期のあるもの

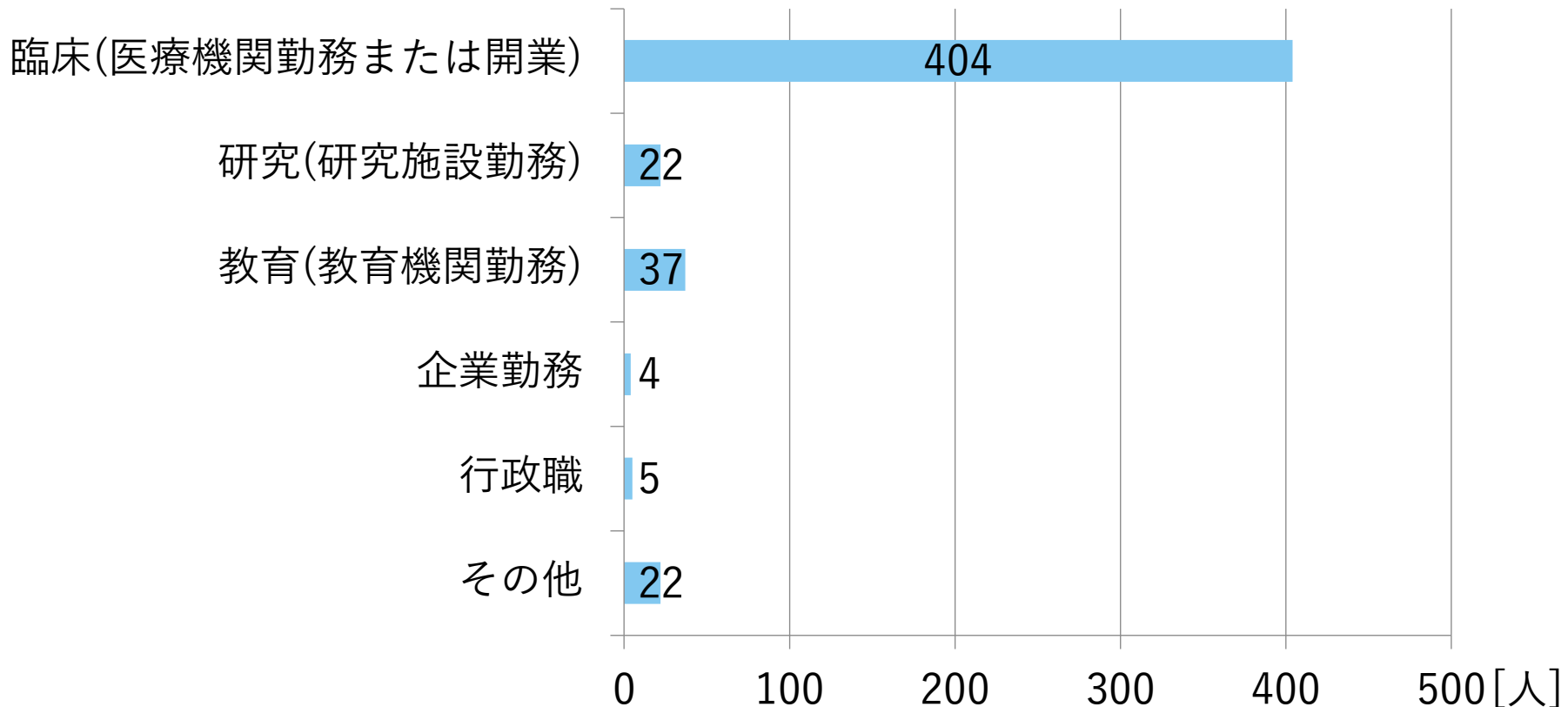
[複数選択可]



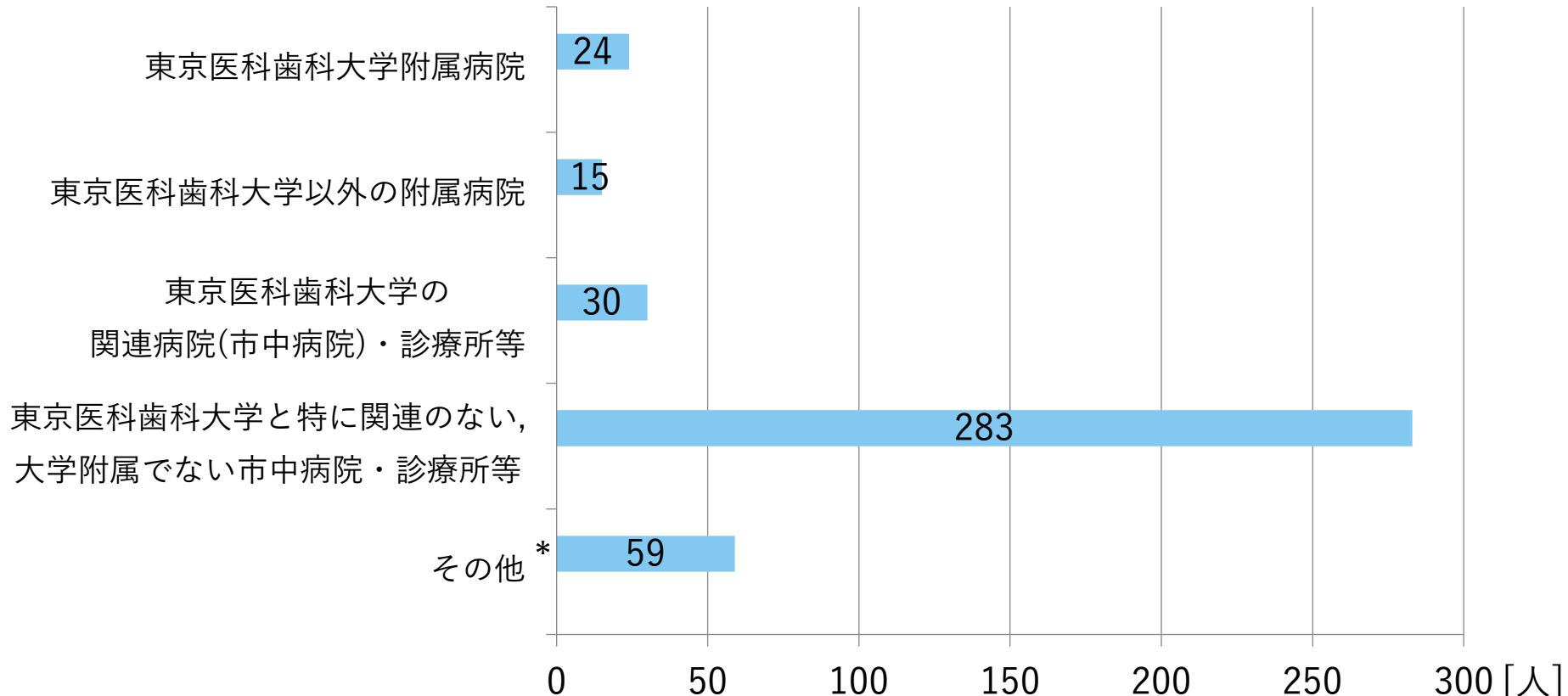
*臨床業務が主の場合は臨床のみを, 研究業務が主の場合は研究のみを選択

†その他を選んだ人の自由記載内容例: 大学院等

学部卒業以降,携わったもので 現在最も携わっていると自分が思うもの



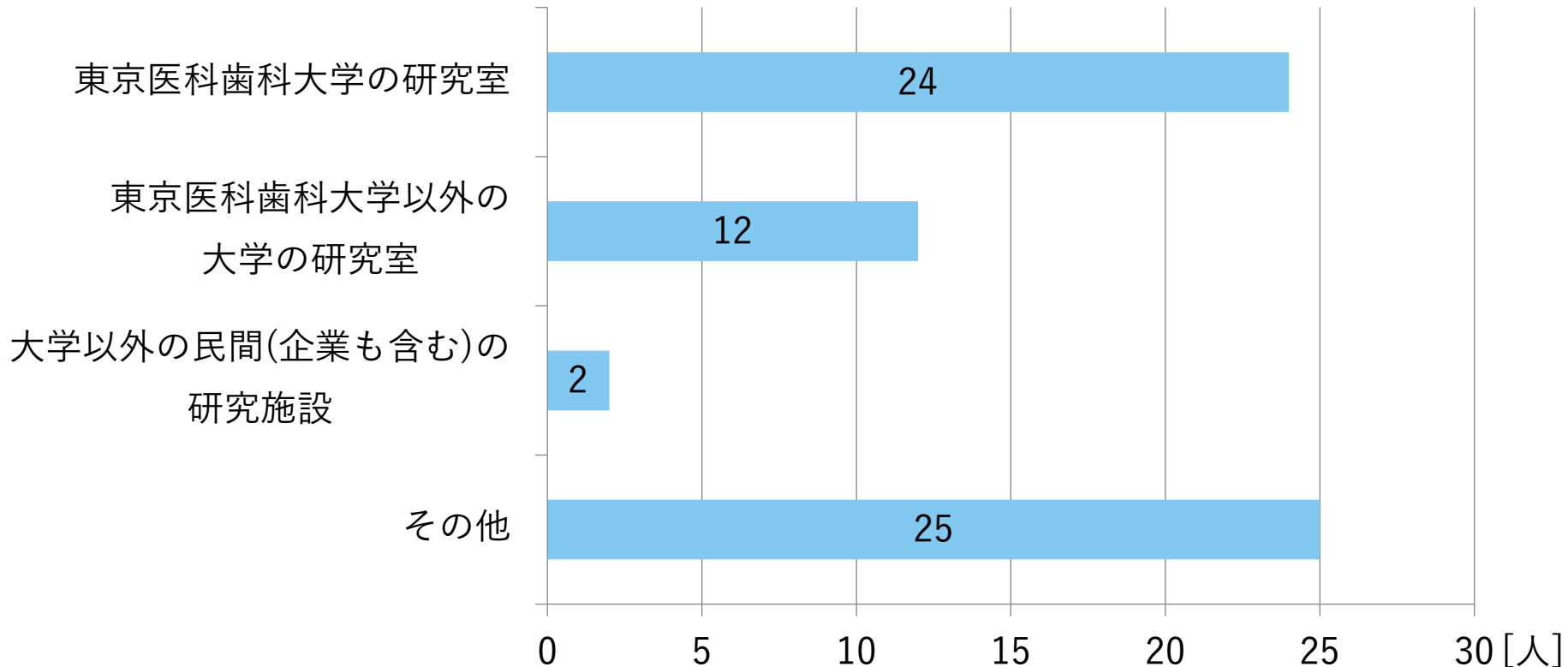
現在臨床に最も携わっていると選択した方で、
現在主に勤務している医療機関につき最も近いと思うもの



(本来設問の該当者でなく回答した方がいる)

*その他を選んだ人の自由記載内容例：開業, 引退後等

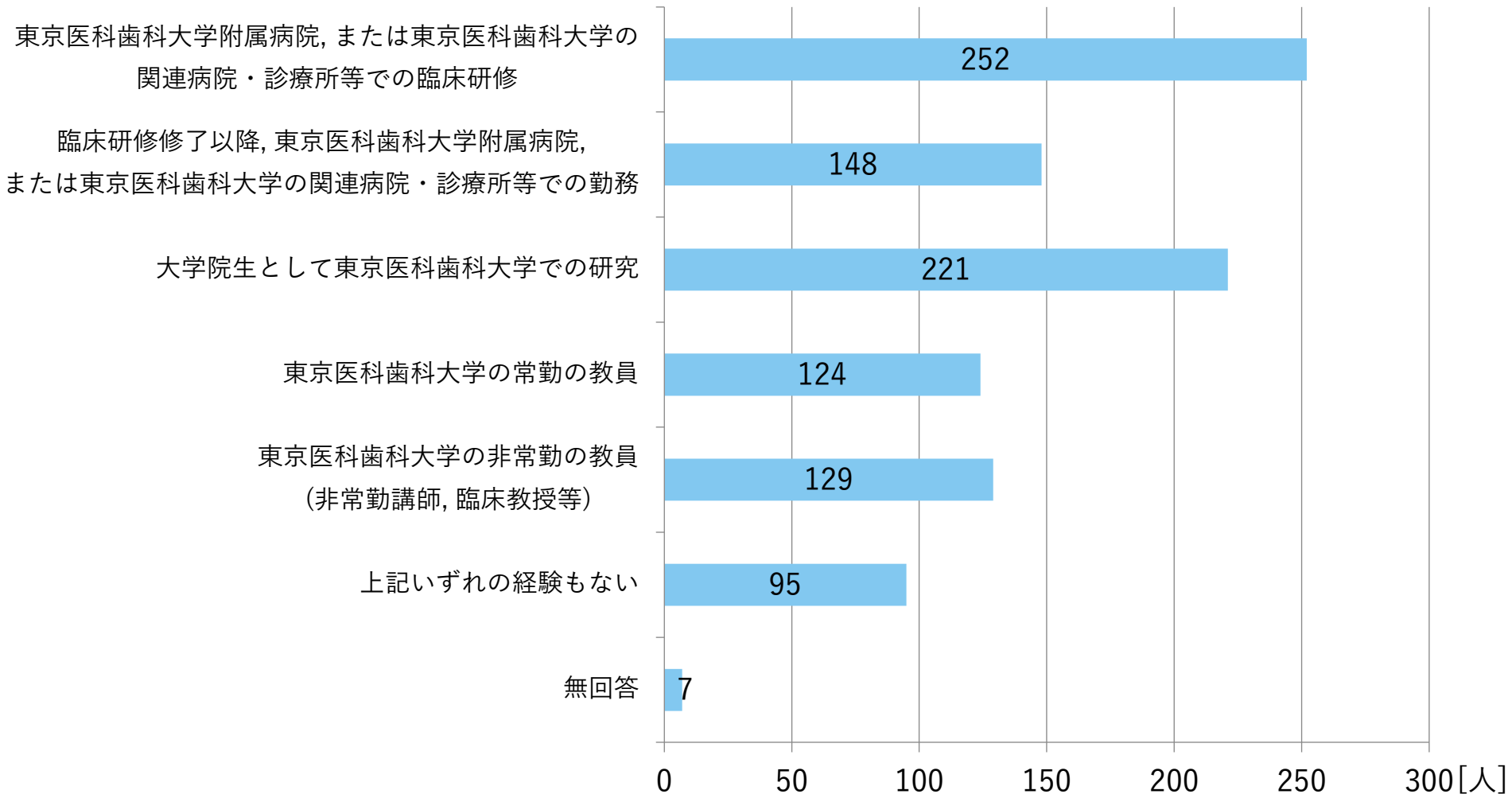
現在研究に最も携わっていると選択した方で、
現在主に勤務している研究施設につき最も近いと思うもの



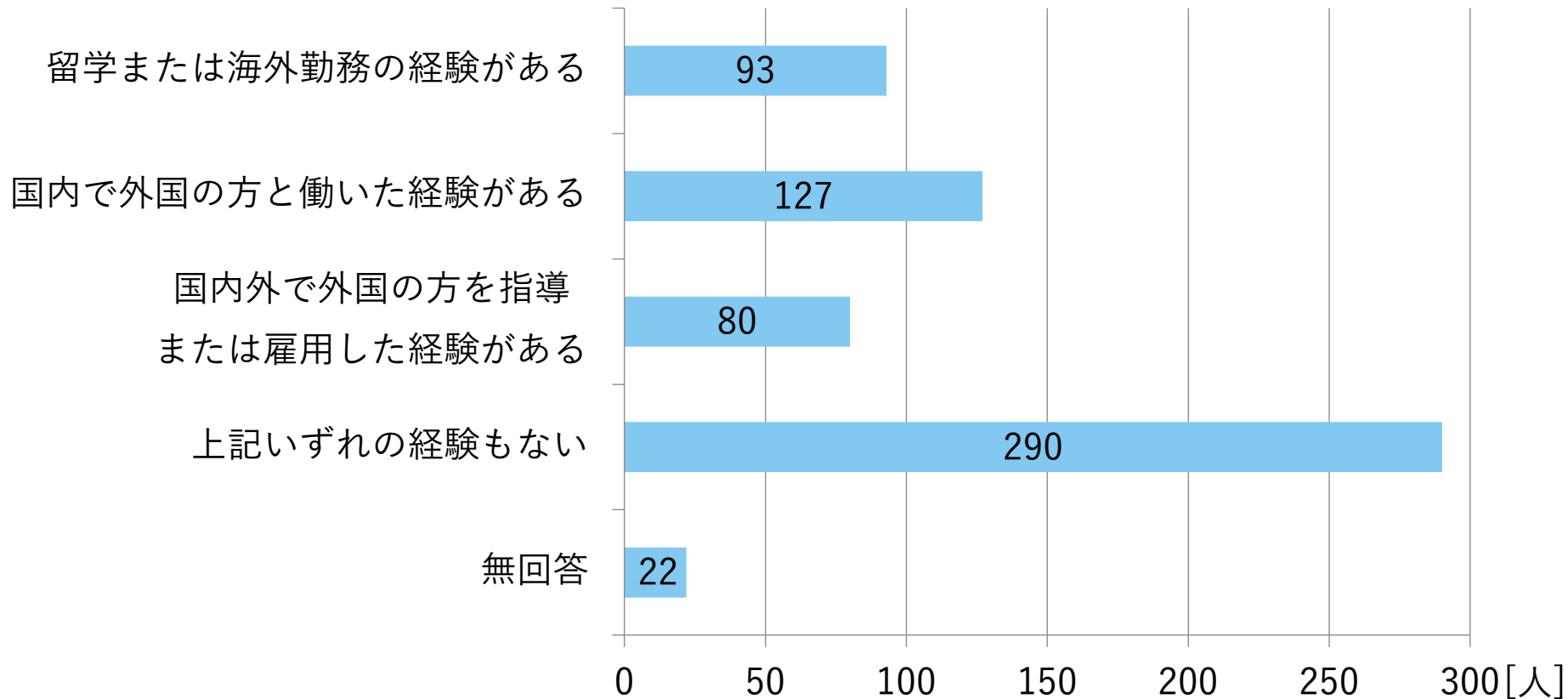
(本来設問の該当者でなく回答した方がいる)

*その他を選んだ人の自由記載内容例：海外の研究室, 引退後等

学部卒業以降の東京医科歯科大学に関連した在籍経験 [複数選択可]

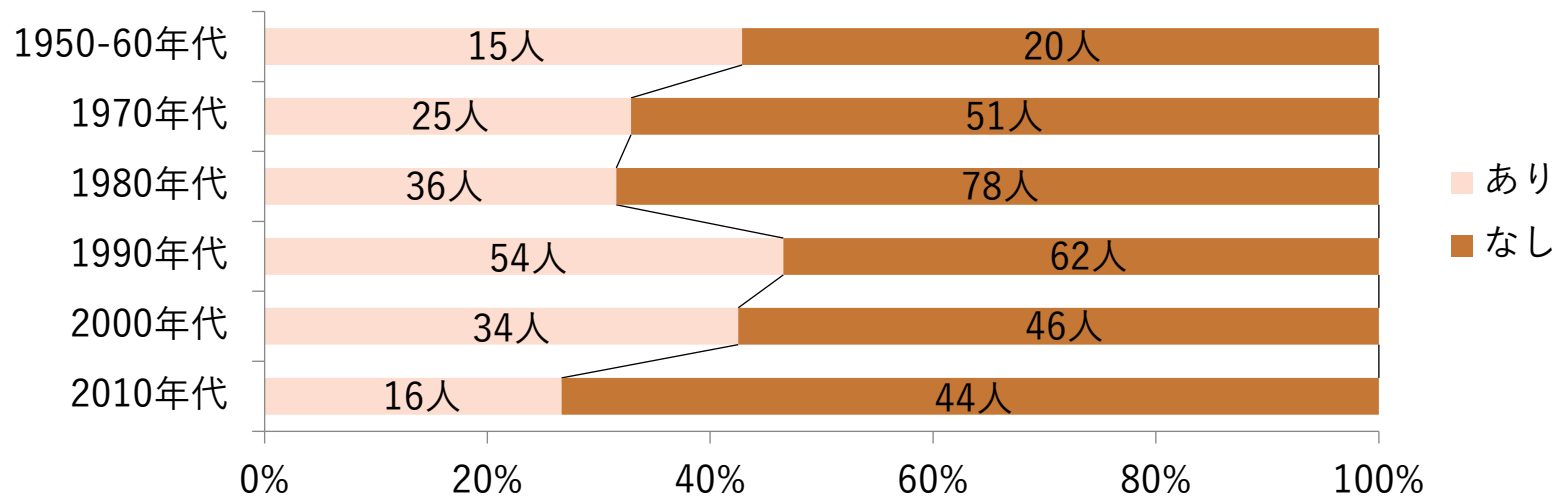


学部卒業以降、国際交流で経験のあるもの [複数選択可]



国際交流経験の有無－卒業年代との関係

	あり	なし	合計
1950-60年代	43% (15人)	57% (20人)	100% (35人)
1970年代	33% (25人)	67% (51人)	100% (76人)
1980年代	32% (36人)	68% (78人)	100% (114人)
1990年代	47% (54人)	53% (62人)	100% (116人)
2000年代	43% (34人)	58% (46人)	100% (80人)
2010年代	27% (16人)	73% (44人)	100% (60人)
合計	37% (180人)	63% (301人)	100% (481人)

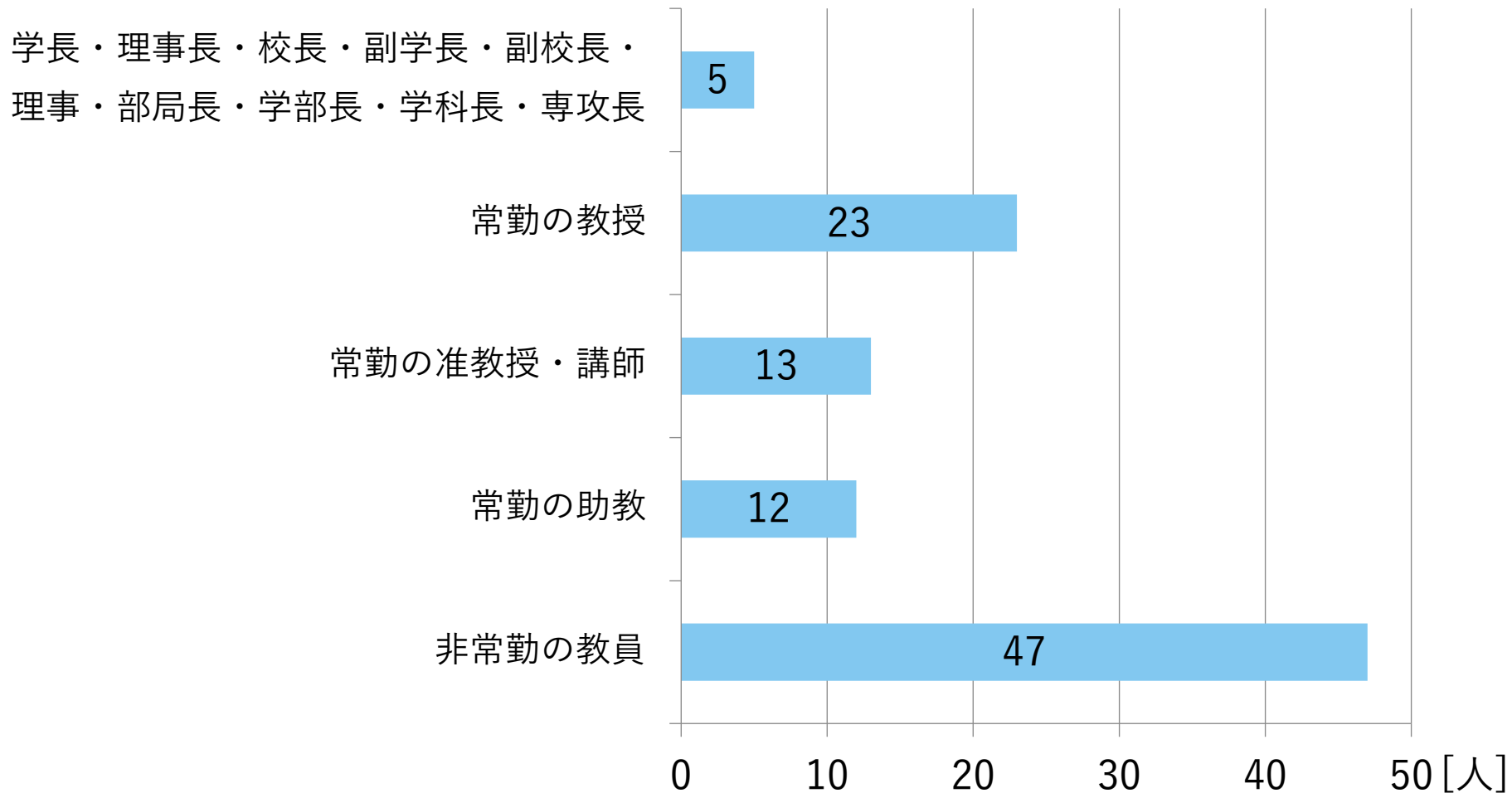


役職関連の集計

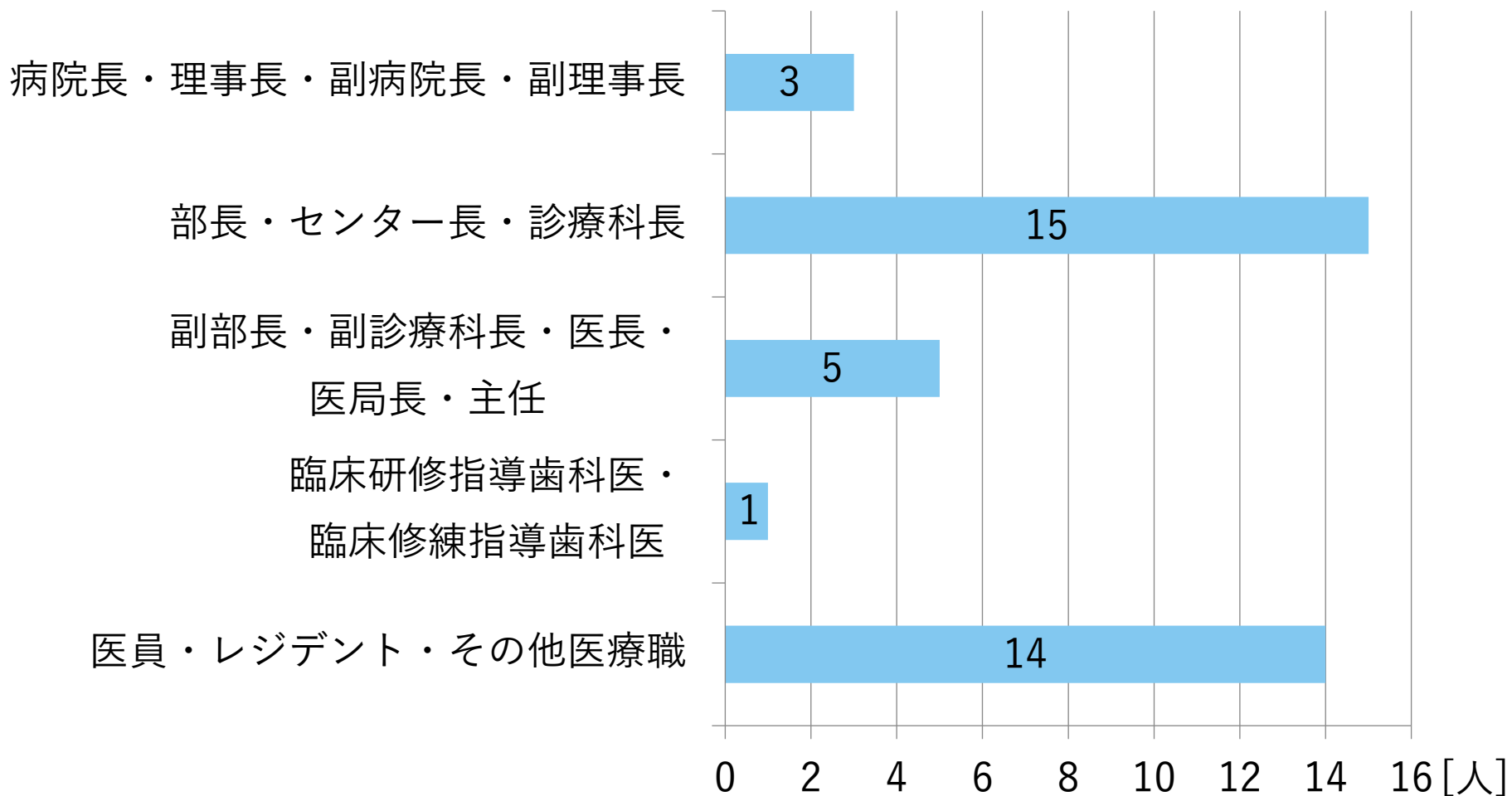
- ・以降の役職関連の集計は、これまでの多肢選択式の質問と異なり、「現在の役職名(歯科医師会・学会・同窓会等における役職も含む)を『全て』ご記入ください。」という自由記述式質問*への回答を集計対象としています。
- ・多様な回答データを集計するために、比較的頻度の高かった回答や典型的な回答を分類するためのカテゴリーをデータ取得後に設定し、各カテゴリーに該当すると特定/推定できる回答を記入していた人数をカウントした結果をまとめています。
- ・上記質問文で回答の仕方を詳細に規定しなかったこともあり、どのカテゴリーに該当するかを特定/推定するのが困難だった回答も複数あります。
このため、全ての回答を厳密に集計したものではなく、結果は概算の参考値となります。

* 初めての調査であったため、全体像把握のために敢えて事前に選択肢を設定しませんでした。

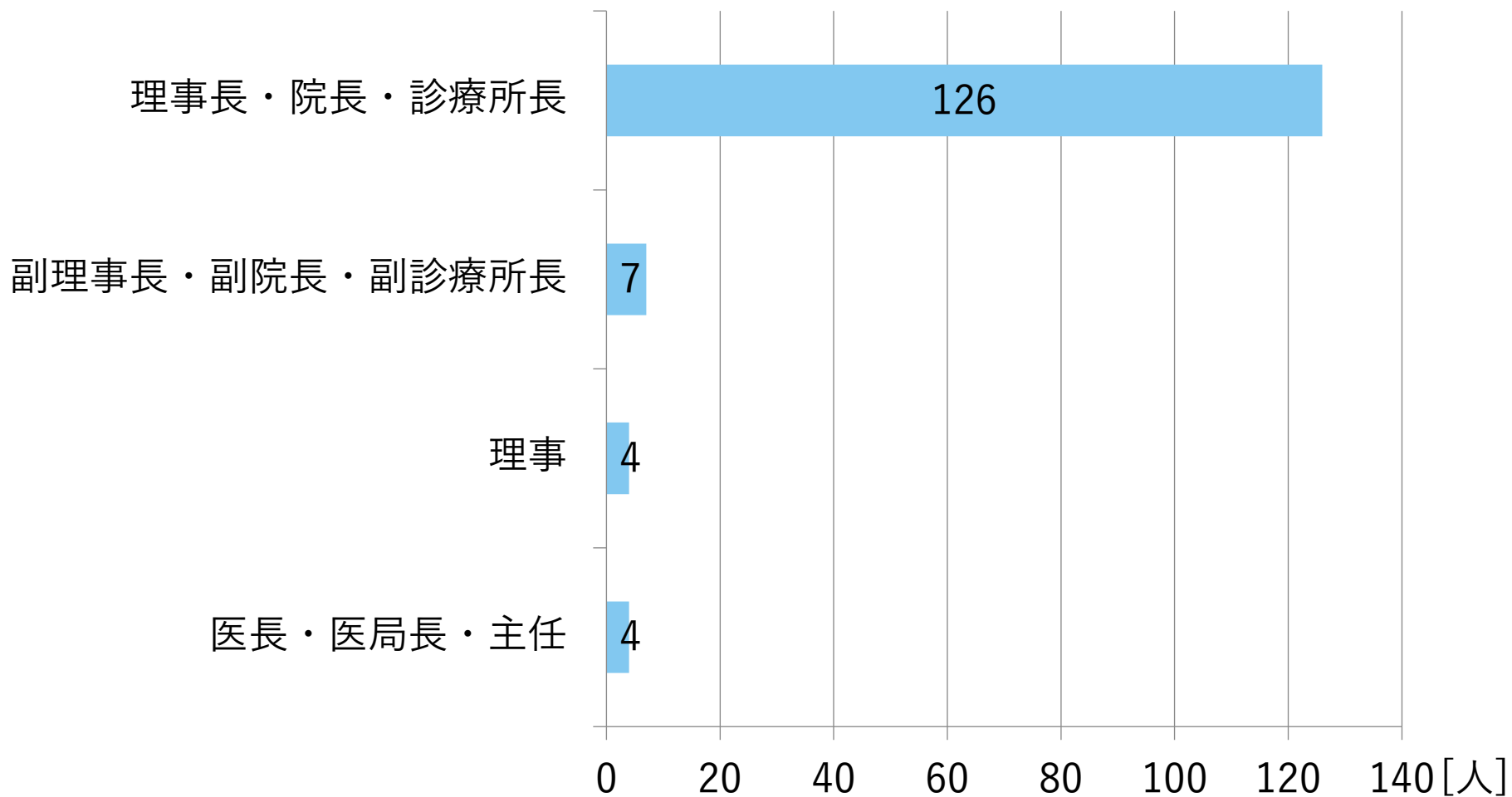
教育・研究



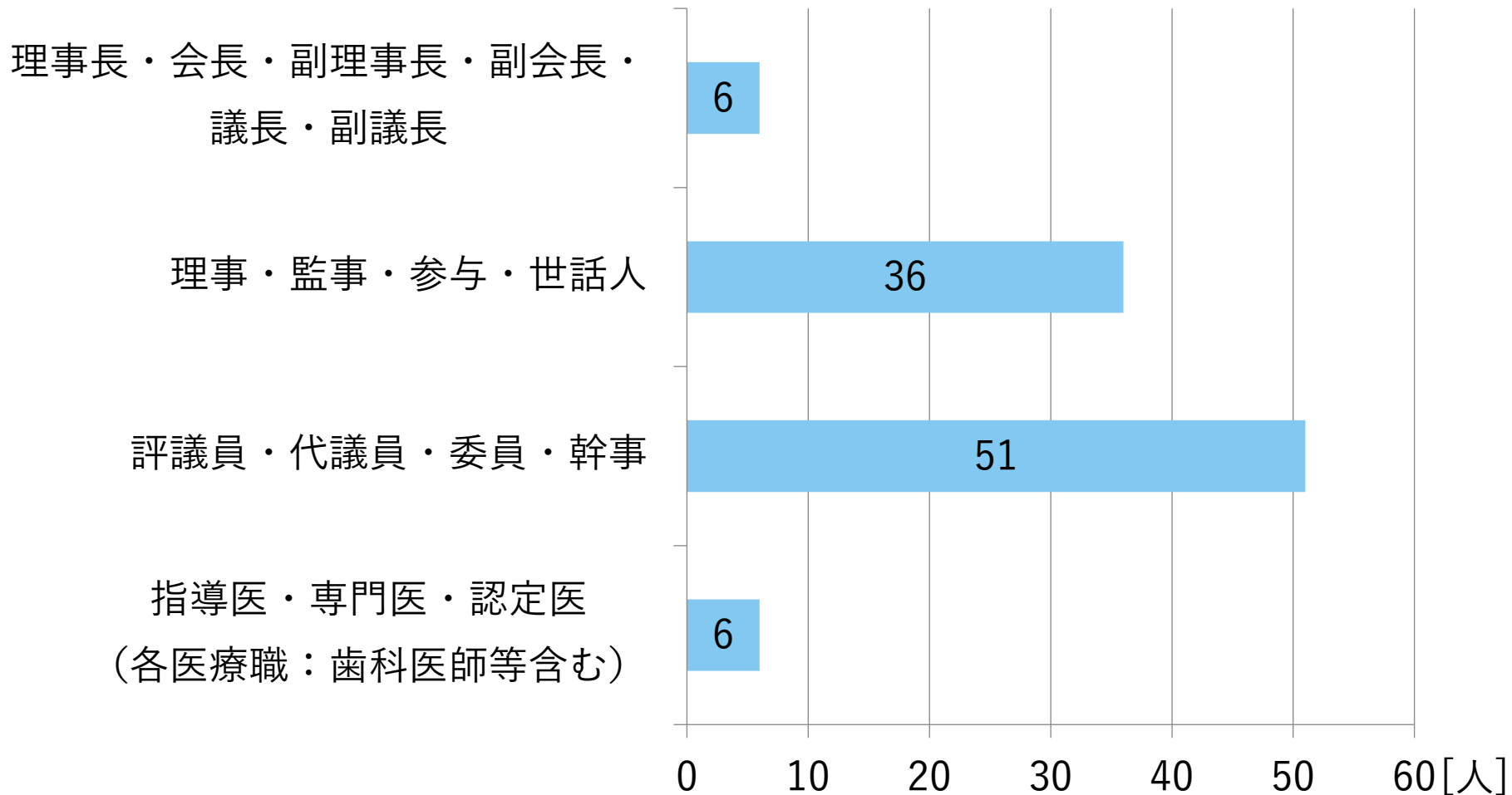
病院



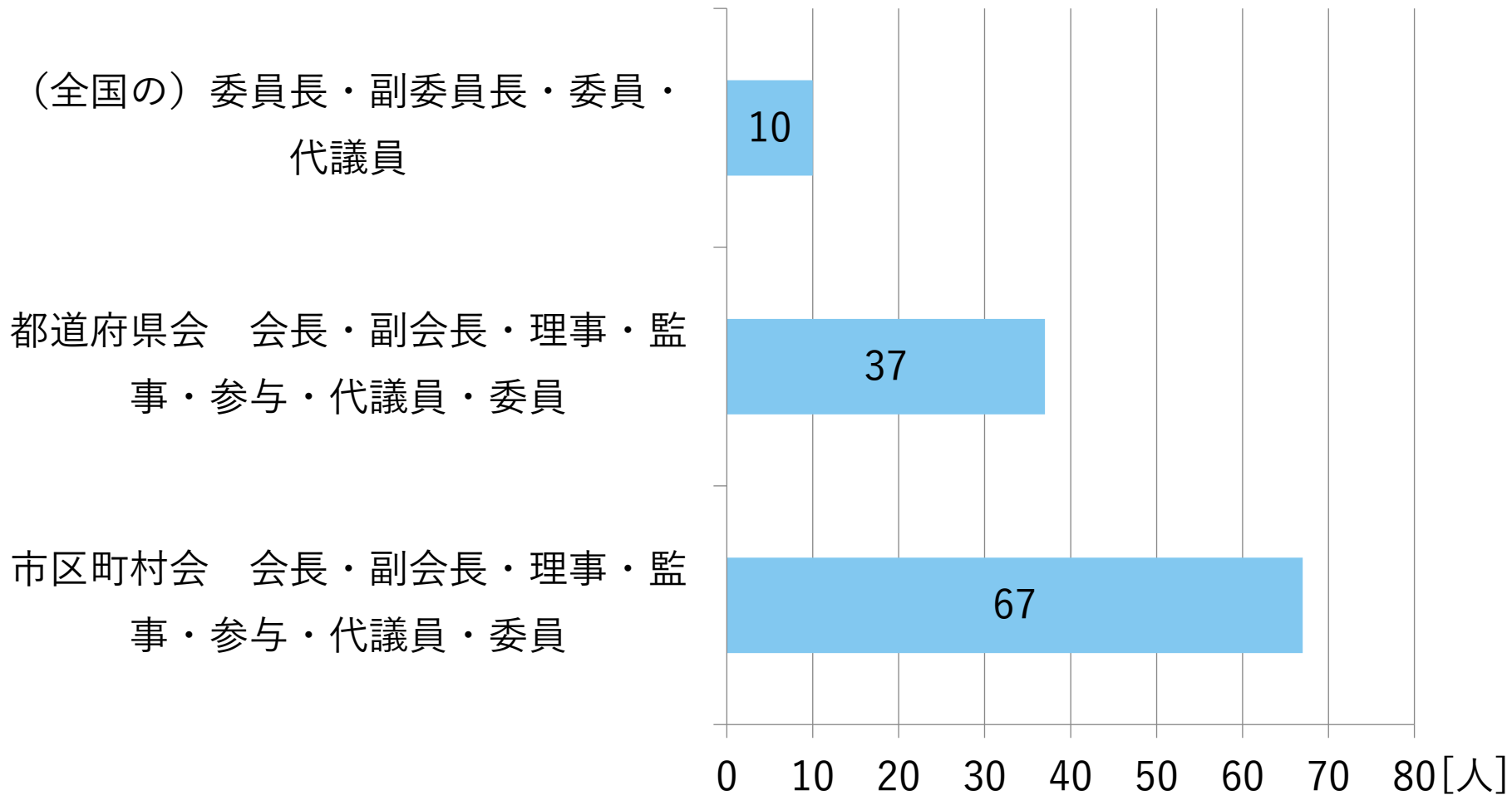
診療所



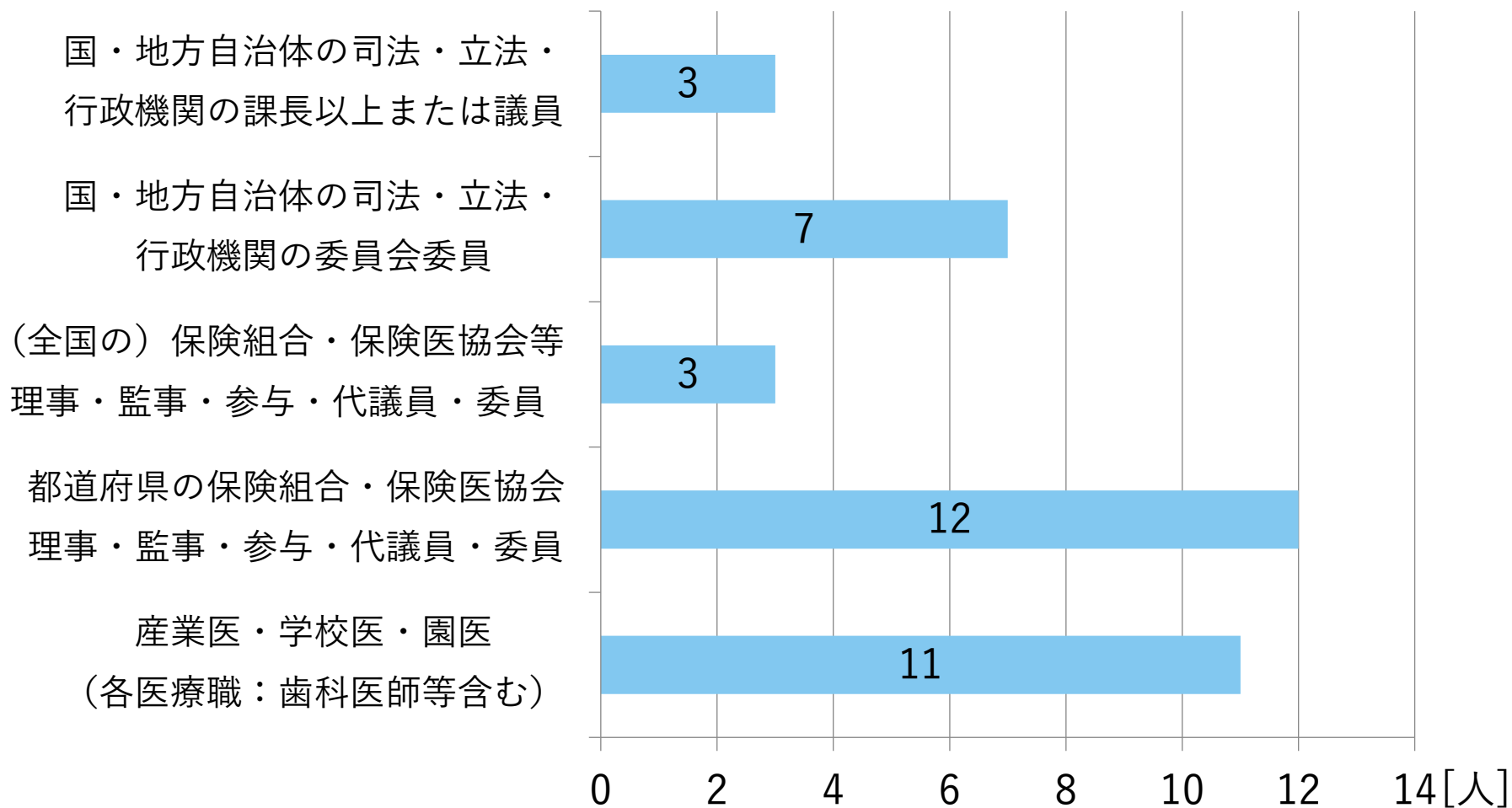
学協会・公益団体



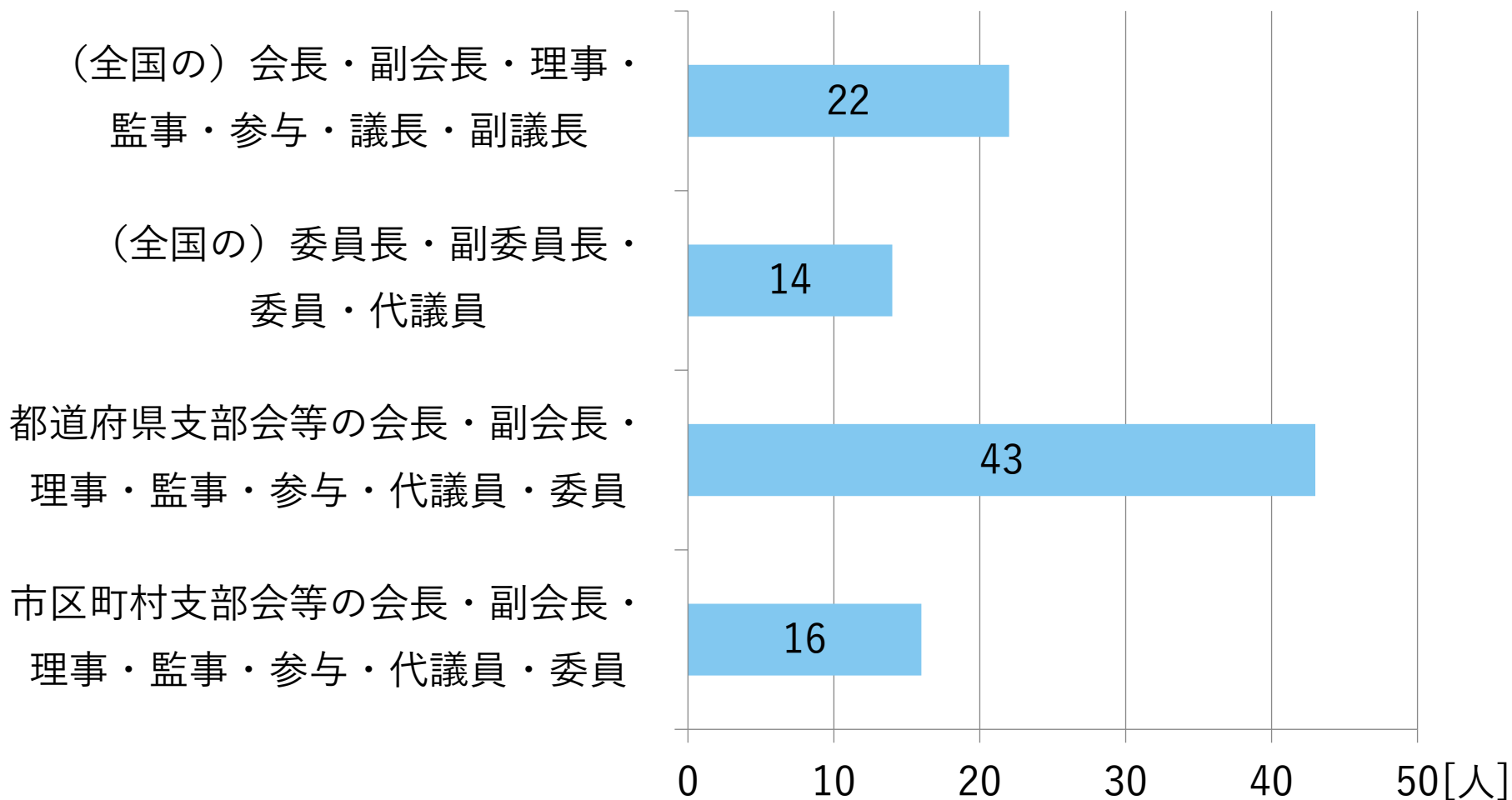
歯科医師会



行政・保険組合等

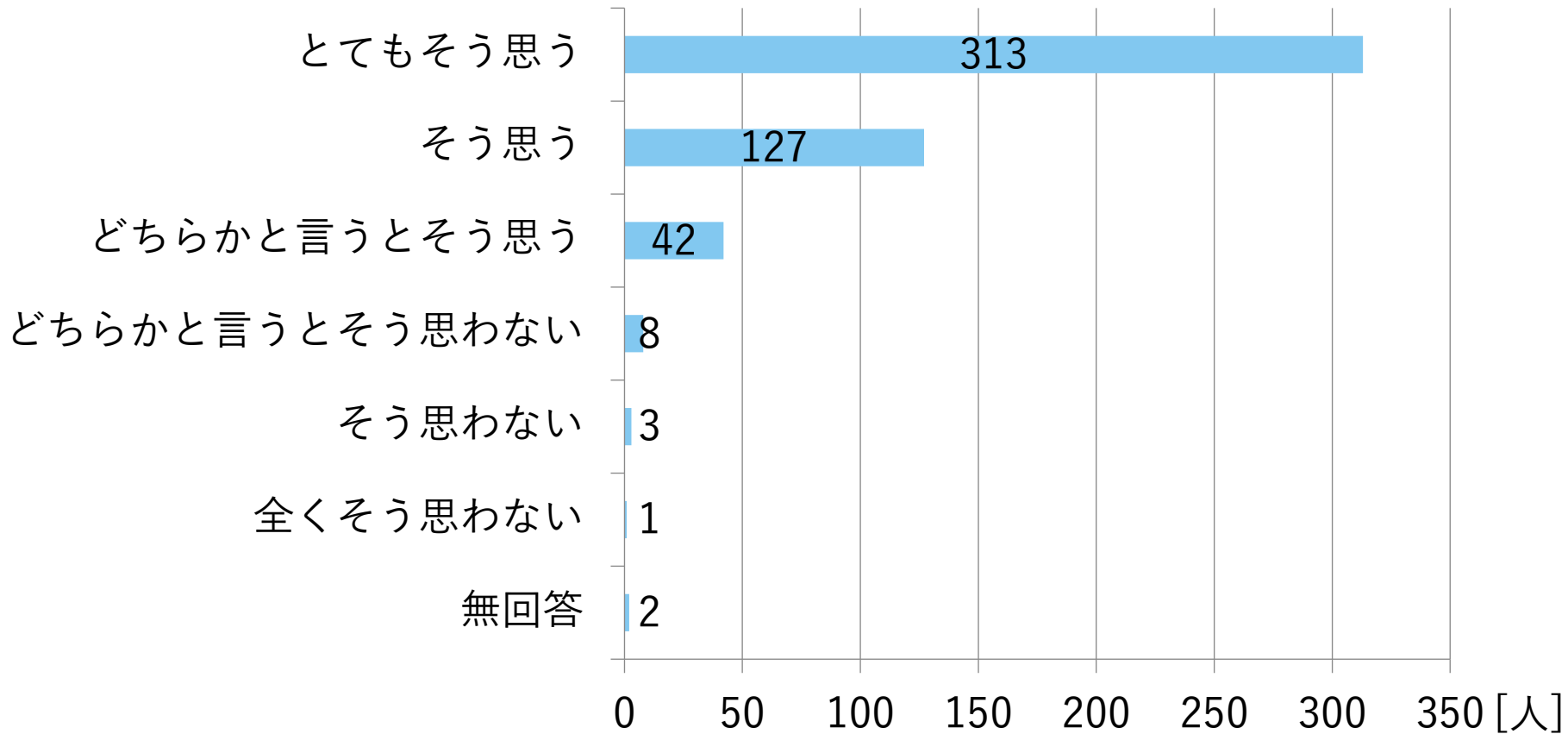


同窓会



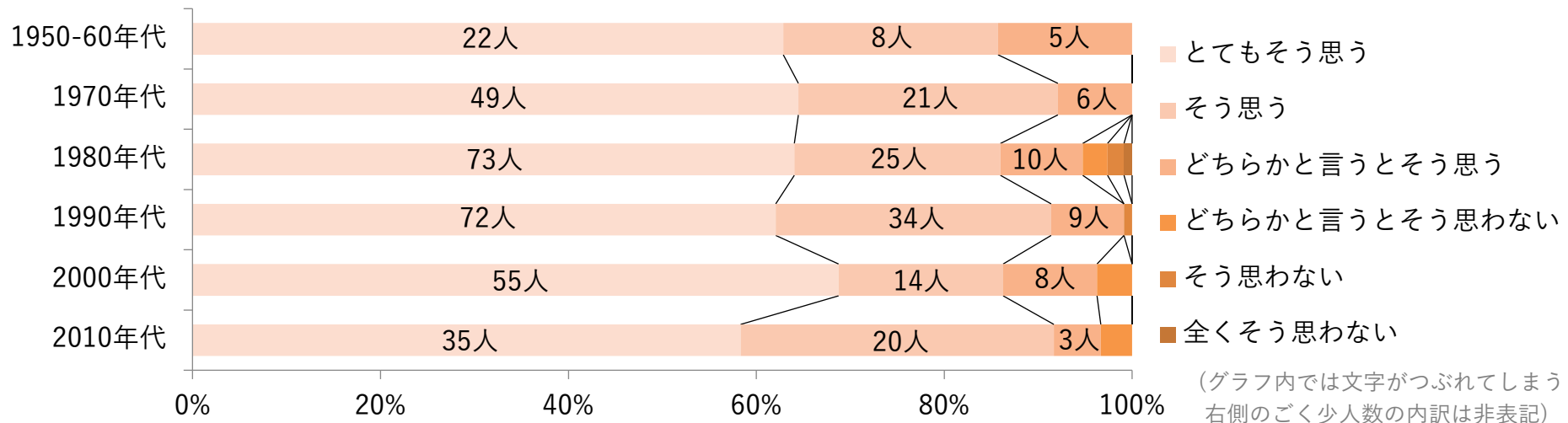
役職関連の集計はここまでとなります。

現在までを振り返って、東京医科歯科大学を 卒業して良かったと思うか



現在までを振り返って、東京医科歯科大学を卒業して良かったと思うか－卒業年代との関係

	とても そう思う	そう思う	どちらかと言うと そう思う	どちらかと言うと そう思わない	そう思わない	全く そう思わない	合計
1950-60年代	63% (22人)	23% (8人)	14% (5人)	0% (0人)	0% (0人)	0% (0人)	100% (35人)
1970年代	64% (49人)	28% (21人)	8% (6人)	0% (0人)	0% (0人)	0% (0人)	100% (76人)
1980年代	64% (73人)	22% (25人)	9% (10人)	3% (3人)	2% (2人)	1% (1人)	100% (114人)
1990年代	62% (72人)	29% (34人)	8% (9人)	0% (0人)	1% (1人)	0% (0人)	100% (116人)
2000年代	69% (55人)	18% (14人)	10% (8人)	4% (3人)	0% (0人)	0% (0人)	100% (80人)
2010年代	58% (35人)	33% (20人)	5% (3人)	3% (2人)	0% (0人)	0% (0人)	100% (60人)
合計	64% (306人)	25% (122人)	9% (41人)	2% (8人)	1% (3人)	0% (1人)	100% (481人)



(当該設問に無回答だった場合は集計に含めていない)

東京医科歯科大学を卒業して良かったと思うかについての理由 (肯定的回答選択者からの内容抜粋①)

- 教育内容がよく、臨床実習は特に充実していた。卒後も縦横の関係が良好で、しかも医学部との交流も他大学にはない綿密さがある。
- 学生時代に充実した臨床実習の機会が得られたこと。
生涯にわたる同窓の友人に巡り会えたこと。
- 良き先輩後輩に巡り会え、充実した歯科医としての人生を送れたと思う。他の大学では得られない教育を受け、高度の研究生活、豊富で多様な臨床経験を積むことができたと思う。

東京医科歯科大学を卒業して良かったと思うかについての理由 (肯定的回答選択者からの内容抜粋②)

- 歯学教育が厳正で、特に最高学年時に多くの臨床ケースの実習が課され、卒業後直ちに一般臨床に役立つよう教育されたこと。
- 卒後、さまざまな場面で大学で受けた教育の素晴らしさを実感することが多いため。
- 私の歯科医師としての人生の基礎をすべて形成してくれたから。
- 歯科医師として現在の姿があるのは東京医科歯科大学のおかげと思っています。ものの考え方、臨床への取り組む姿など優秀な先輩方にご教授いただきましたので。

東京医科歯科大学を卒業して良かったと思うかについての理由 (否定的回答選択者からの内容抜粋)

- 研究者を目指す方には医科歯科大学歯学部は良い選択だと思いますが、
歯科開業医の場合は私立大卒が圧倒的多数で医科歯科卒は
寧ろ少数派の悲哀を感じる事が多い。
- 同窓に自分と同じような経歴の先輩が少なくて、自分の将来設計上
指針となるものが正直少ないため。
- 医科歯科大学附属病院といっても烏合の衆かつ、全般的に立場は弱い。

集計結果のまとめ(1)

- ・ 卒後間もなくから卒後50年超にまで及ぶ、幅広い層から回答が得られました。
- ・ 回答者の性別構成は、男性：女性が約3：1でした。
- ・ 現在までの就業経験として、臨床は96%、研究は49%、教育は46%、企業は6%、行政は4%の回答者が経験していました。
- ・ 現在の就業状況としては、臨床が81%、研究が4%、教育が7%、企業が1%、行政が1%を占めていました。

集計結果のまとめ(2)

- ・ 臨床で現在主に勤務しているのが東京医科歯科大学の附属病院または関連のある医療機関である人は、アンケート全回答者の11%でした。
- ・ 研究で現在主に勤務しているのが東京医科歯科大学の研究室である人は、アンケート全回答者の5%でした。
- ・ 東京医科歯科大学と関連した在籍経験を有する人は、回答者の81%でした。
- ・ 国際交流の経験がある人は、回答者の42%でした。
幅広い卒業年代の回答者が国際交流の経験を有していることが示唆されました。

集計結果のまとめ(3)

- ・ 役職も含めた各集計結果から、本学卒業生が各界で幅広く活躍していることが示唆されました。
- ・ 本学の卒業を肯定的に捉えている人は、回答者の97%でした。また、幅広い卒業年代の回答者が本学卒業を肯定的に捉えていることが示唆されました。肯定の理由としては、教育が良いこと、特に臨床実習が充実していること、友人や先輩後輩に恵まれたこと等が挙げられていました。